

2014年10月号

10月15日(水)発行

釧路湿原国立公園

温根内ビジターセンター

# 月刊 温根内通信 No. 217



## 秋の楽しみ…

賑やかな観光シーズンはようやく終わり、温根内は静けさを取り戻しました。そんな木道で目を閉じると、よりいっそう湿原の秋を感じることができます。心地よい風がカサカサとヨシを鳴らす音、遠くで鳴く雁の声、トンボの羽ばたき、乾いたヨシや木の葉の匂い、そして静寂。秋の湿原ならではの楽しみ方を見つけてみてはいかがでしょうか？

☆☆☆温根内ビジターセンター 探勝木道周辺の自然情報☆☆☆



～温根内探勝木道周辺の自然～



【ウメバチソウ】  
ニシキギ科 梅鉢草  
釧路湿原の花の季節を締めくる美しい白い花も10月半ばで見納めです。この花がなくなると長い冬が始まります。



【ハンノキ(実)】  
カバノキ科 榎  
木道沿いで小さな松ぼっくりのような実を付けています。茶色い松かさの様な実は昨年の実、緑色の実はこちらから熟して種子を飛ばします。



【ヤマブドウ(実)】  
ブドウ科 山葡萄  
今年も鶴居軌道跡でたくさんの実をつけています。手の届かない斜面の上にあるので、冬の間は鳥たちのごちそうになりそうです。



【ミズナラ(どんぐり)】  
ブナ科 水榎  
昨年は不作で温根内ではほとんど見られませんでした。今年には豊作です。様々な動物たちの冬の間のごちそうになります。



【ミツバフウロ(実)】  
フウロソウ科 三葉風露  
小さな白い花を咲かせていましたが、果実は弾けて種を散布します。弾けた様子が音符の様な形に見えます。



【クジャクチョウ】  
タテハチョウ科 孔雀蝶  
暖かい日には木道の上で日に当たり体を温めています。クジャクチョウは成虫で冬眠し、来年春にいち早く湿原で飛び始めます。

○表紙の写真 上: ヤチダモの黄葉 中右: ウメバチソウ 中左: ミヤマアカネ 下: オオツリバナ(実)

## ～温根内探勝木道周辺の野鳥～

10月には鳥たちの移動の時期です。夏鳥たちは本州以南へと旅立ち、ヒシクイやオオハクチョウなどのカモ類は南の越冬地への旅の途中に釧路湿原に立ち寄ります。そろそろ山からはカケスも下りてくるでしょう。カラ類は群れを作り、森の中を元気に飛び回り、その中にキツツキが混じることもあるので油断はできません。渡りの時期ならではの珍客に出会えることもあるかもしれません。木々の葉っぱが落ちて鳥が見やすくなるこの時期、静かな湿原では鳥たちがせわしなく飛び回り、夏鳥から冬鳥へと入れ替わっていきます。冬の使者オオワシもまもなくやってくることでしょう。ビジターセンターでは無料で双眼鏡を貸し出ししています。お気軽にご利用ください。



【ノゴマ（メス）】  
ヒタキ科 野駒 夏鳥  
メスにはオスの様な喉のオレンジはありません。越冬地の東南アジアへの長い旅を控えて鶴居軌道跡で群れになっていました。



【アオジ（幼鳥）】  
ホオジロ科 青嶋 夏鳥  
今年生まれの幼鳥は初めての長い旅に出ます。越冬地は本州以南。厳しい旅を乗り越えて来年の春に釧路湿原に戻ってきてほしいですね。



【ノビタキ（オス 冬羽）】  
ヒタキ科 野鷲 夏鳥  
夏のノビタキを見慣れている人は別の鳥と間違えてしまいそうです。渡りの前にはすっかりと冬羽に生え変わっていました。



【シジュウカラ】 留鳥  
シジュウカラ科 四十雀  
留鳥のシジュウカラは群れになってにぎやかにビジターセンター周辺を飛び回っています。他の種も混ざっているので注目です。

### ○温根内探勝木道周辺で観察された花（9月15日～10月14日）※和名は五十音順

■アキノウナギツカミ ■アメリカセンダングサ ■イヌタデ ■ウメバチソウ ■エゾイヌゴマ ■エゾイラクサ ■エゾオオヤマハコベ ■エゾシロネ ■エゾゴマナ ■エゾトリカブト ■エゾナミキ ■エゾノコギリソウ ■エゾヤマアザミ ■エゾリンドウ ■オオバセンキュウ ■オオヨモギ ■カタバミ ■キツネノボタン ■キンミズヒキ ■クサフジ ■クルマバナ ■ゲンノショウコ ■コウゾリナ ■コガネギク ■ゴキツル ■サワギキョウ ■シオガマガク ■シロツメクサ ■セイヨウタンポポ ■タニソバ ■チドリケマン ■ツリフネソウ ■トウヌマゼリ ■ナガボノシロワレモコウ ■ナギナタコウジュ ■ネジバナ ■ハナタデ ■ハンゴンソウ ■ヒメジョオン ■ヒヨドリバナ ■ヘラバヒメジョオン ■ホソバアカバナ ■ホソバイラクサ ■ミゾソバ ■ミツガシワ（季節外れ） ■ミツバフウロ ■ミツパベンケイソウ ■ムラサキツメクサ ■メマツヨイグサ ■ヤナギタンポポ ■ヤマハハコ ■ヨシ

※10月14日の低気圧で木道から見えるウメバチソウは最後の一輪となり、鶴居軌道跡沿いもヒメジョオンやヤマハハコなど数種の花を残すのみとなりました。今年の花の季節はそろそろ終わりを迎えます。温根内通信の花情報も来月号から来年4月号までお休みします。湿原は緑から茶色に変わり、長い冬が訪れようとしています。

### ○温根内探勝木道周辺で観察された鳥（9月15日～10月14日）※和名は日本鳥類目録第7版の順

■ヒシクイ ■カイツブリ ■キジバト ■アオサギ ■タンチョウ ■トビ ■オジロワシ ■ノスリ ■コグラー ■オオアカゲラ ■アカゲラ ■ヤマゲラ ■モズ ■ハシボソガラス ■ハシブトガラス ■クイタダキ ■ハシブトガラ ■ヒガラ ■シジュウカラ ■ヒヨドリ ■エナガ ■センダイムシクイ ■コヨシキリ ■ゴジュウカラ ■キバシリ ■ノゴマ ■ノビタキ ■コサメビタキ ■ハクセキレイ ■ピンズイ ■カワラヒワ ■ベニマシコ ■アオジ ■オオジュリン

※旬の自然情報についてはお気軽にスタッフまでお尋ねください。

※温根内木道周辺の植物を折ったり持ち帰ったりしないようお願いいたします。また、木道から降りて写真を撮ることはおやめください。皆様が気持ちよく散策・観察できるようご理解とご協力をお願いします。

## ☆☆☆温根内木道無料ガイドウォーク実施報告☆☆☆

昨年度に引き続き、今年度も無料ガイドウォークを実施しました。昨年度は第1回目ということもあり、夏休み期間中に合わせ、7月末から8月一杯の期間で試



験的に実施しましたが、今年度からは花の咲いている季節に合わせ、6月末から

9月までの土日祝日（他のイベントと重ならない日）で、一日に2回実施。一方的な解説ではなく、参加者との会話を重視して定員も10名としました。

事前告知を最低限にし、予約受付を行わなかったことで、参加者は狙い通りの初めて訪れる個人客が大半を占め、平均の参加人数は3,7名



と少なかったものの、その分会話が弾み、参加者は概ね満足しているようでした。

参加者は50代から60代の夫婦と一人旅が一番多く、花や自然の好きな人、のんびりと北海道を旅する人がほとんどで、77.2%が道外からの参加でした。



今年度から本格的に実施を始めた無料ガイドウォークですが、ガイドの手配や告知の方法など課題が多く残りました。改善点がまだまだありますが、昨年度と今年度の結果を踏まえて、来年度はより良いものにしたい



と思っています。お近くに立寄った際には是非ご参加ください。

## ☆☆☆☆イベントのご案内（11月）事前の申し込みが必要です☆☆☆☆

○温根内ビジターセンター ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪リースを作ろう

〔日時〕11月30日（日）13:00～15:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕500円（材料費）

〔場所〕温根内ビジターセンター

もうすぐクリスマスです。自然の素材やいろいろなリボンを使ってオリジナルのクリスマスリースを作りましょう。

○塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003

♪ムックリ（口琴）を作ろう

〔日時〕11月1日（土）13:00～15:00 〔定員〕15名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕300円（材料費）

〔場所〕塘路湖エコミュージアムセンター

アイヌの伝統的な楽器、ムックリを作って演奏しよう。

### ～冬季開館時間について～

冬期間（11/1～3/31）は開館時間が変更になります。冬季開館時間は10:00～16:00です。ビジターセンターご利用の際にはご注意ください。なお、冬期間は日没が早いので、木道をご利用の際は時間に余裕を持って暗くなる前にお戻りください。街灯等は一切ありませんので、真っ暗になり危険です。

### 月刊 温根内通信 No.217

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-0036 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@hokkai.or.jp

ホームページ: <http://city.hokkai.or.jp/~kkr946/>

Facebook: <https://www.facebook.com/Onnenai.VC>

開館時間: 10:00～17:00（11月～3月は16:00まで）

休館日: 毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料